【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和2年7月30日(2020.7.30)

【公開番号】特開2019-4358(P2019-4358A)
【公開日】平成31年1月10日(2019.1.10)
【年通号数】公開・登録公報2019-001
【出願番号】特願2017-118436(P2017-118436)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/243　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/351　(2011.01)
Ｈ０４Ｎ　5/225　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/238　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　11/00　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　5/30　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/243
Ｈ０４Ｎ　5/351
Ｈ０４Ｎ　5/225　４００
Ｈ０４Ｎ　5/225　３００
Ｈ０４Ｎ　5/238
Ｇ０３Ｂ　11/00
Ｇ０２Ｂ　5/30

【手続補正書】
【提出日】令和2年6月1日(2020.6.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
光学素子と、撮像素子と、演算部と、を有し、
前記光学素子は、
第１偏光軸の光を透過する第１状態または第２偏光軸の光を透過する第２状態の双方で動作可能であり、
前記撮像素子は、
第１画素群および第２画素群を有し、
前記演算部は、
ニューラルネットワークによる学習または推論を実行する機能を有する撮像装置。
【請求項２】
請求項１において、
前記光学素子は、液晶素子を有し、
前記液晶素子は、ＴＮモードで動作する撮像装置。
【請求項３】
請求項１または請求項２において、
前記第１偏光軸と前記第２偏光軸の相対角度が１８０°未満である撮像装置。
【請求項４】
請求項１乃至請求項３のいずれか一項において、

前記ニューラルネットワークは、深層ニューラルネットワーク、畳み込みニューラルネットワーク、再帰型ニューラルネットワーク、自己符号化器、深層ボルツマンマシン、または深層信念ネットワークである撮像装置。

【請求項５】

請求項１乃至請求項４のいずれか一項において、

前記第１画素群と前記第２画素群は、それぞれが市松模様状に配置されている撮像装置。

【請求項６】

請求項１乃至請求項５のいずれか一項に記載の撮像装置を用いた撮像システムであって、

前記光学素子が前記第１状態の時に前記第１画素群で第１撮像情報を取得する工程と、

前記光学素子が前記第２状態の時に前記第２画素群で第２撮像情報を取得する工程と、

前記第１撮像情報と前記第２撮像情報を用いて、

前記演算部で第３撮像情報を生成する工程と、を有する撮像システム。